

令和6年度 第1回社会教育委員の会議

令和6年7月23日（火） 午前10時～11時30分
宇都宮市役所14大会議室



- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 宇都宮市社会教育委員について
- 4 副委員長選出
- 5 議事
報告事項
 - (1) 令和5年度「第3次宇都宮市地域教育推進計画」後期計画の実績評価について
 - (2) 令和5年度 図書館事業に係る図書館参考人からの意見について
- 6 その他
 - (1) うつのみやこども賞40周年記念事業の概要について
 - (2) 令和7年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの開催概要について
 - (3) 今後のスケジュール
- 7 閉 会

2 委員紹介

宇都宮市社会教育委員名簿

任期:令和6年7月1日~令和7年6月30日

1	石島 祐太郎	宇都宮工業高等学校長 (栃木県高等学校長会宇都宮支部)	11	小林 剛	宇都宮市青少年指導員会会長
2	永井 高穂	若松原中学校長(宇都宮市中学校長会)	12	前田 秀美	泉が丘小学校宮っ子ステーション 推進委員会会長
3	青木 孝浩	清原中央小学校長 (宇都宮市小学校長会)	13	鈴木 千明	家庭教育支援活動者
4	今井 政範	認定こども園さくらが丘理事長 (宇都宮地区幼稚園連合会)	14	川島 芳昭	宇都宮大学教授
5	福田 陽	公益社団法人宇都宮青年会議所理事長	15	河田 隆 (委員長)	宇都宮共和大学教授
6	小林 純枝	宇都宮市スポーツ協会副会長	16	佐々木 一隆	宇都宮大学名誉教授
7	松本 弘元	宇都宮市文化協会常任理事	17	丸山 純一	文星芸術大学教授
8	石塚 勝	宇都宮市子ども会連合会会長	18	増渕 幸男	上智大学名誉教授
9	福田 治久	宇都宮市PTA連合会会長	19	成島 隆裕	市議会議員
10	小松 整洸	宇都宮市地域まちづくり協議会副会長	20	山崎 昌子	市議会議員

3 宇都宮市社会教育委員について

2 宇都宮市社会教育委員について

職務

社会教育に関する計画を推進することや、教育委員会の諮問に応じ、社会教育に関し意見を述べるもの
(社会教育法第17条)

委員構成

20名 (学校教育関係者4名 社会教育関係者7名 家庭教育関係者2名 学識経験者7名)
(宇都宮市社会教育条例第3条及び第4条)

任期

2年 (令和5年7月1日～令和7年6月30日)
(宇都宮市社会教育条例第5条)

会議回数

2回 (7月・2月)

2 宇都宮市社会教育委員について

○ 主な協議事項

- ・ 第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画について
- ・ 社会教育関係団体に対する補助について
- ・ 社会教育行政の基本方針及び重点施策について など

○ これまでの協議事項

- ・ 昭和57年度(建議)「地域社会における青少年教育のあり方について」
- ・ 昭和59年度(答申)「多様化,高度化する社会に対応した公民館の機能と組織体制について」
- ・ 昭和63年度(答申)「成人の日の行事について」
- ・ 平成 2年度(答申)「生涯学習推進に伴う公民館のあり方について」
- ・ 平成 4年度(答申)「成人の日の行事のあり方について」
- ・ 平成12年度(意見書)「生涯学習社会における今後の公民館のあり方について」
- ・ 平成13年度(意見書)「(仮称)宮っ子育成の日について」
- ・ 平成18年度(意見書)「家庭と地域の教育力向上に関する意見書」
- ・ 平成22年度(答申)「宇都宮市における今後の「成人教育」のあり方について」
- ・ 平成26年度(提言)「社会の要請」と求められる学習について
- ・ 令和 元年度(答申)「成年年齢引き下げに伴う宇都宮市成人式のあり方等について」
- ・ 令和 3年度(提言書)「『社会の要請』と課題解決に向けた取り組みについて」

4 副委員長選出

5 議事 報告事項(1)

令和5年度「第3次宇都宮市地域教育推
進計画後期計画」の実績評価について

○ 趣旨

令和5年2月に策定した「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」（以下「本計画」という。）の計上事業における令和5年度の事業実績を踏まえた評価と取組方針について協議するもの

1 計画の位置づけ

本計画は、「第6次宇都宮市総合計画基本計画」の分野別計画であるとともに、本市における「人づくり」の指針である「うつのみや人づくりビジョン（宮っこ未来ビジョン）」の基本的考え方や方向性を受けた、社会教育行政において最も基本となる計画である。

2 計画期間

本計画は平成30年を開始年次とし、令和9年を目標年次とする10か年の計画であり、令和4年度に中間見直しを行い、後期計画の策定を行った。

（前期計画：平成30年～令和4年，後期計画：令和5年～令和9年）

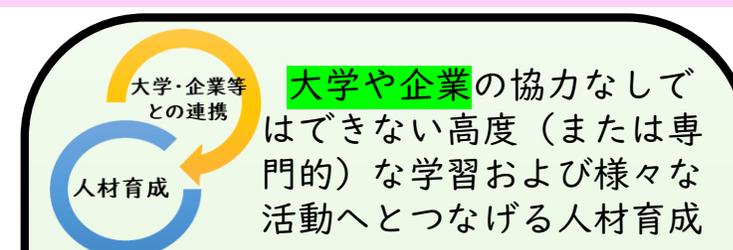
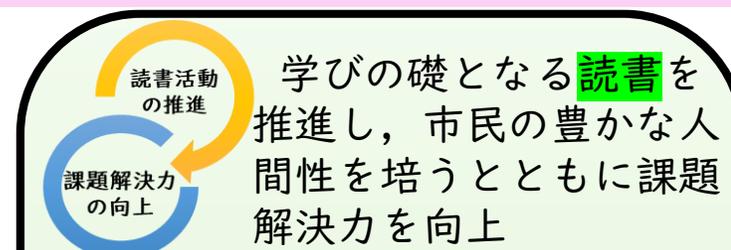
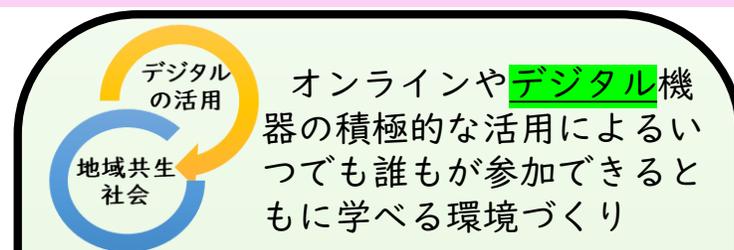
3 計画の進行管理

本計画に関連する各種施策・事業について、事業を所掌する関係課においてその取組実績を定量的に把握・評価を行うとともに、教育委員会の附属機関である「社会教育委員の会議」に報告し、意見を聴取することとし、効果的な推進を図るものとする。

4 計画の体系・・・参考資料「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」の概要

基本理念

『学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により、一人ひとりが活躍できる社会を実現する。』



基本目標Ⅰ

一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習に取り組んでいます。

基本目標Ⅱ

地域・学校・家庭が相互に連携・協力した教育活動を通して、地域全体で学び合い育ち合っています。

基本目標Ⅲ

多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

基本目標Ⅳ

学習や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める環境が整っています。

評価方法について

○ 事業評価

令和5年度の目標値に対する達成率に応じ、以下のとおりの進捗とする。

目標値の達成率	進捗
100%以上	計画以上
70%～100%未満	計画どおり
70%未満	計画より遅れ
評価になじまない事業 (計画期間内での実施を予定しているもの)	評価困難

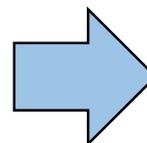
○ 基本目標の評価

基本目標については、基本目標ごとに構成事業の進捗状況を3段階（計画以上（100点）、計画どおり（80点）、計画より遅れ（60点））で点数化し、その合計した点数から事業数で除して基本目標全体の平均値を算出

※ 評価困難を除く

【例】

構成事業が8つあり、計画以上が4事業、計画どおりが3事業、計画より遅れが1事業の場合
 $(100点 \times 4 + 80点 \times 3 + 60点 \times 1) \div 8 = 87.5点$



平均値の点数から下記の表により評価を実施

基本目標の合計点数	評価
90点以上	順調
75点以上90点未満	概ね順調
75点未満	順調でない

75点以上90点未満なので【概ね順調】

○ **基本指標の評価**

基本指標については、下記の表に基づき目標値に対する達成率に応じて3段階で評価

目標値の達成率	評価
100%以上	順調
70%～100%未満	概ね順調
70%未満	順調でない

○ **全体計画の評価**

全体計画については、基本目標Ⅰ～Ⅳの構成事業の和を総事業数で除した点数を算出し、下記の表に基づき3段階で評価

基本目標Ⅰ～Ⅳの平均点数	評価
90点以上	順調
75点以上90点未満	概ね順調
75点未満	順調でない

基本目標 I 個人の主体的な学習活動

【基本目標 I】一人ひとりが自己の実現や生活の向上, 地域社会の発展に向けて主体的に学習に取り組んでいます。

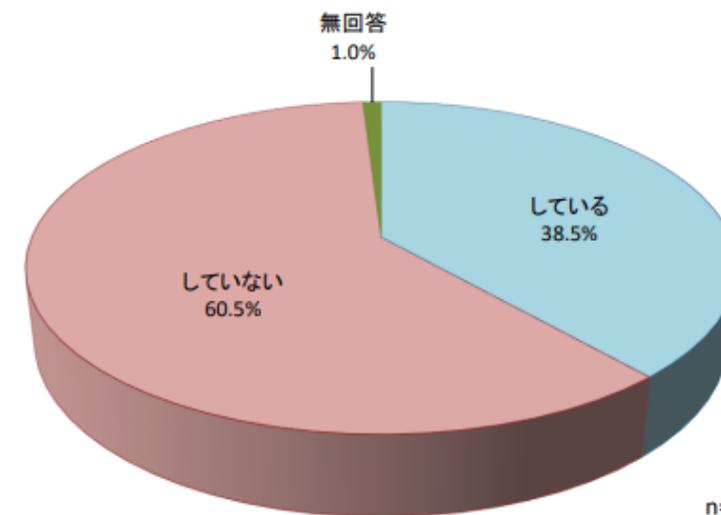
○ 基本目標の評価: 3施策24事業 (うち重点事業4事業)

評価	事業数(重点)
計画以上	21(4)
計画どおり	3(0)
計画より遅れ	0(0)
計	24(4)

24事業のうち,
計画以上が21事業, 計画どおりが3事業, 計画より遅れが0事業
 $(100点 \times 21 + 80点 \times 3 + 60点 \times 0) \div 24 = 97.5点 \Rightarrow$ **順調**

《基本指標 I》主体的に学習に取り組んでいる市民の割合

年度	R3	R5	R9
目標	基準値	29.1%	50.0%
実績	23.9%	38.5%	
評価	—	順調	



基本目標 I 個人の主体的な学習活動

【令和5年度の評価・課題】

- ・ 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、主催事業等が人数制限なく実施できたことにより、重点事業を中心に目標値を上回ったことなどから、21事業が「計画以上」となった。
- ・ 高齢者がデジタル化に取り残されないための「スマホ基礎講座」の開催や、「宇都宮市電子図書館」の運用開始など、学習や読書に係る環境づくりに努めたことなどから、主体的に学習に取り組む市民の割合が増加した。
- ・ 講座全体で20代～50代の参加者が少ない傾向があり、幅広い年代が参加できる講座を展開する必要がある。
- ・ 図書館の利用や図書館講座への参加はコロナ禍以前の利用者数へ回復傾向にあるが、より一層個人の主体的な学習活動を推進するために、読書活動の充実を図っていく必要がある。

【今後の取組方針】

- ・ 子育てや仕事などで時間がない方も気軽に参加できるように「オンライン講座」を増やすとともに、異業種交流や同世代の意見交換など、若い世代が興味を持ちやすい新たな学習スタイルを取り入れるなどの工夫を行っていく。
- ・ 読書による個人の学習活動を推進するため、40周年を迎える「うつのみやこども賞」の記念事業を実施し、図書館や学校などで広く周知することで、読書活動のきっかけづくりに取り組む。

基本目標Ⅱ 地域全体が連携・協力した教育活動

【基本目標Ⅱ】地域・学校・家庭が相互に連携・協力した教育活動を通して、地域全体で学び合い育ち合っています。

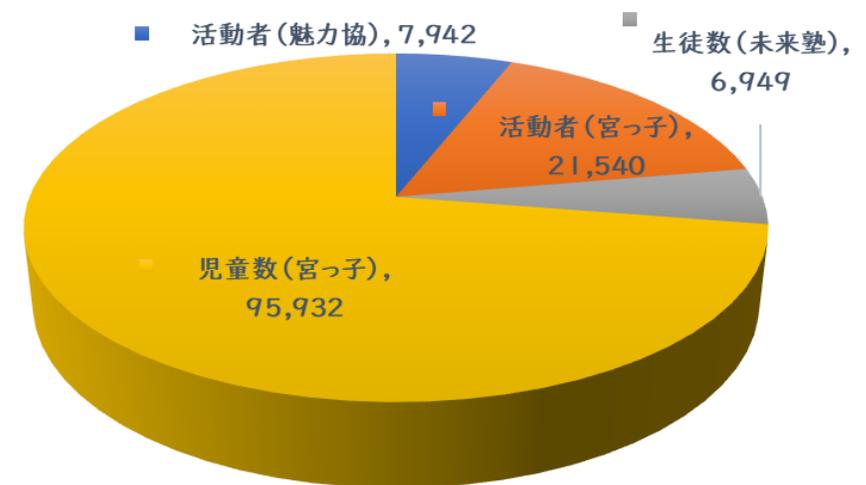
○ 基本目標の評価:2施策14事業(うち重点事業3事業)

評価	事業数(重点)
計画以上	11(3)
計画どおり	3(0)
計画より遅れ	0(0)
計	14(3)

14事業のうち、
計画以上が11事業、計画どおりが3事業、計画より遅れが0事業
 $(100点 \times 11 + 80点 \times 3 + 60点 \times 0) \div 14 = 95.7点 \Rightarrow$ **順調**

≪基本指標Ⅱ≫ 地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した活動者および児童・生徒数

年度	R3	R5	R9
目標	基準値	98,936	170,000人
実績	81,171人	132,363	
評価	—	順調	



基本目標Ⅱ 地域全体が連携・協力した教育活動

【令和5年度の評価・課題】

- ・ 地域全体の協力体制が整備されており、地域・学校・家庭が、子どもたちの教育活動を支える取り組みを積極的に行ったことなどから、14事業のうち11事業が「計画以上」となった。
- ・ 大学等への働きかけや研修会など、活動者の育成・支援に取組み、児童・生徒の自主性や社会性の向上に加え、地域への愛着を深める機会を創出したことから、参加した活動者および児童・生徒数が増加した。
- ・ コロナ禍以前に比べ参加する子どもの減少などもみられる事業があることから、地域のニーズを捉えた効果的な実施手法を検討する必要がある。

【今後の取組方針】

- ・ それぞれの地域がニーズに合った事業を効果的に展開できるよう、大学や企業等の連携をしながら、「魅力ある学校づくり地域協議会」の組織強化・活動支援、「放課後子ども教室」の実施校区拡大、「親学出前講座」の利用促進などの支援に取り組む。

基本目標Ⅲ 様々な場面で学んだ成果を生かして活動

【基本目標Ⅲ】多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

○ 基本目標の評価:3施策22事業(うち重点事業3事業)

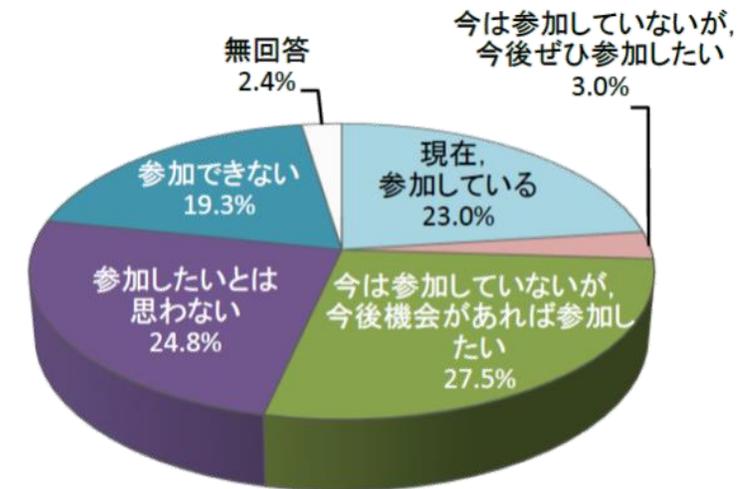
評価	事業数(重点)
計画以上	11(3)
計画どおり	8(0)
計画より遅れ	2(0)
評価困難	1(0)
計	22(3)

21事業(評価困難を除く)のうち、
計画以上が11事業、計画どおりが8事業、計画より遅れが2事業
(100点×11+80点×8+60点×2)÷21=88.6点⇒概ね順調

《基本指標Ⅲ》地域に貢献する活動に参加している市民の割合

年度	R3	R5	R9
目標	基準値	-	35.0%
実績	29.5%	23.0%	
評価	-	※	

※単年度目標値を定めていないため、最終年度の令和9年度に評価を行う



基本目標Ⅲ 様々な場面で学んだ成果を生かして活動

【令和5年度の評価・課題】

- ・ 学習機会を計画的に提供し、開催主体に応じたプログラムが用意できたこと、地域づくりに積極的に取り組めるよう、郷土愛を育む学習機会の提供を行ったことなどから、11事業が計画以上となった。
- ・ 「高齢者の生きがいづくりの推進」、 「地域スポーツクラブの育成支援」についてはコロナの影響により利用者が低迷したことや地域への説明会実施が困難だったことから目標値の達成率が70%未満となり、「計画より遅れ」となった。
- ・ 「若者ボランティア認定制度」においては、若者のボランティアへの参加促進につながる仕組みづくりに向け検討中であることから、評価になじまない事業として「評価困難」となった。
- ・ 「地域に貢献する活動に参加している市民の割合」は減少傾向となったため、参加しやすい機会の提供や協働を促進する意識づくりを図る必要がある。

【今後の取組方針】

地域団体や大学、企業など様々な組織と行政が連携し、活動の中核を担うコーディネーターを育成・支援するプログラムを実施し、地域活動に参加しやすい環境づくりや協働を促進する意識づくりに取り組んでいく。

○事業番号38「高齢者の生きがいづくりの推進」

コロナ禍以前の利用者数へ回復するよう、地域のニーズに応じた事業企画に取り組み、利用者数の増加に努める。

○事業番号40「地域スポーツクラブの育成支援」

- ・ 新規クラブの立ち上げに向けた説明会の開催等を通じて、地域の機運が醸成されるよう、関係団体に働きかけを行っていく。

○事業番号44「若者ボランティア認定制度」

- ・ 計画期間内の制度創設に向けて、関係者と意見交換を行っていく。

基本目標Ⅳ 学習や活動に取り組める環境整備

【基本目標Ⅳ】学習や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める学習環境が整っています

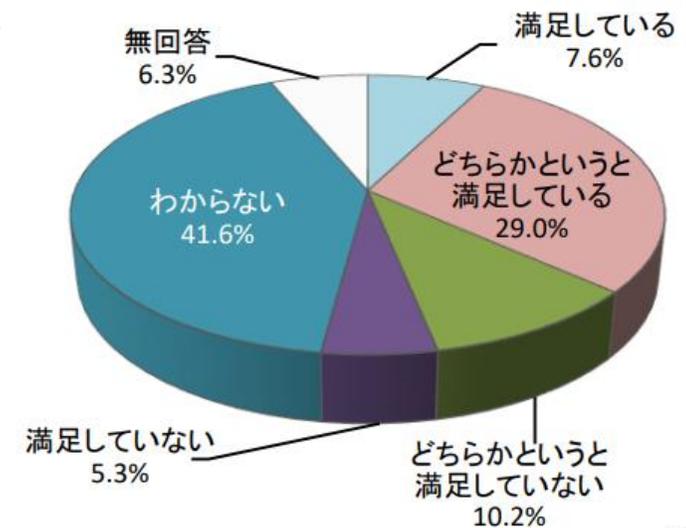
○ 基本目標の評価:2施策12事業(うち重点事業3事業)

評価	事業数(重点)
計画以上	11(2)
計画どおり	1(1)
計画より遅れ	0(0)
計	12(3)

12事業のうち、
計画以上が11事業，計画どおりが1事業，計画より遅れが0事業
(100点×11+80点×1+60点×0)÷12=98.3点 ⇒ 順調

《基本指標Ⅳ》学習や活動を行う機会や環境に満足している市民の割合

年度	R3	R5	R9
目標	基準値	30.0%	50.0%
実績	—	36.6%	
評価	—	順調	



基本目標Ⅳ 学習や活動に取り組める環境整備

【令和5年度の評価・課題】

- ・ 市民の学習や活動の活性化を目指し、生涯学習センターや図書館など社会教育施設の環境整備に取り組んだことから11事業が「計画以上」となった。
- ・ 生涯学習センターにおける通信環境の整備や、図書館情報システムの更新など、学習環境の向上に資する取組をすすめたことにより、学習や活動を行う環境に満足している市民の割合が目標値を上回った。
- ・ 環境整備については、おおむね満足されていると考えられることから、現状の環境を維持するとともに、利用者のニーズを捉えながら、更なる充実を図る必要がある。

【今後の取組方針】

- ・ 「学習と活動の循環」を促していけるよう、地域の学習や活動の拠点である生涯学習センターや図書館などの社会教育施設において、講座の参加者へのアンケートや施設の利用者等の意見などを通じ、ニーズを把握し必要な環境づくりに取り組む。
- ・ 図書館においては、「マルチメディアデイジー」や「宇都宮市電子図書館」等の充実を図ることにより、障がいの有無等にかかわらず、すべての市民が等しく読書に親しめる環境づくりを推進する。

計画全体の評価

全体評価については、基本目標Ⅰ～Ⅳの構成事業の和を総事業数で除した点数を評価

	基本目標Ⅰ	基本目標Ⅱ	基本目標Ⅲ	基本目標Ⅳ	全体
点数	97.5	95.7	88.6	98.3	94.6
評価	順調	順調	概ね順調	順調	順調

計画全体の評価

- 令和5年度の実績評価は、全体を通して「順調」となった。
- なお、後期計画の3つの特徴については、以下の通り取り組んだ結果、各事業の目標達成に寄与した。引き続き、これらの特徴を意識しながら、各事業に取り組むことで、より効果的な事業の推進を図る。

【3つの特徴の主な取組み】

- ・ デジタルの活用
講座のオンライン配信を導入したことで、これまで参加できなかった市民にも学習機会を提供することができた。
- ・ 読書活動の推進
「宇都宮市電子図書館」導入や図書館情報システム更新により市民の利便性向上を図ったほか、マルチメディアデイジーなど、視覚障がい者等が利用しやすい資料の収集に努めた。
- ・ 大学・企業等との連携
市内の様々な大学、企業等と連携し、多様な講座を展開することで専門的で高度な学習の推進を図るとともに、企業等が地域との関わる機会の創出に取り組んだ。

以下，参考資料

【参考】基本目標 I の進捗について

【基本目標 I】一人ひとりが自己の実現や生活の向上, 地域社会の発展に向けて主体的に学習に取り組んでいます。

○ 事業評価: 3施策22事業 (うち重点事業4事業)

施策	事業名	事業概要	進捗
① 学習意欲の向上に資する取組の推進	1 生涯学習センター等における学習機会の充実	市民ニーズに応じた学びの機会や場の提供, 参加しやすい環境整備	計画以上
	2 デジタル技術を活用した学習, 読書機会の充実	YouTube, Zoom等を活用した講座の提供に加え, 電子図書館などの読書機会の充実	計画以上
	3 健康づくりを支援する取組の充実	高齢者を中心とした健康づくりを支援する講座の開催や活動支援	計画以上
	4 宇都宮市民大学の充実	市民の生涯学習における高度で専門的な学習用に応えた学習機会の提供	計画以上
	5 生活課題解決型講座の充実	生涯学習センター等における具体的かつ身近な生活課題の解決に資する講座の充実	計画以上
	6 読書活動の充実	市民の学習活動を促すよう, ソフト・ハード両面からの読書環境の充実	計画以上
	7 子どもの読書活動の推進	小中学生への読書支援や, 読書離れが続く高校生に対する読書の重要性の発信	計画どおり

【参考】基本目標 I の進捗について

施策	事業名	事業概要	進捗
② 社会性の向上に資する学習の推進	8 コミュニケーション力向上学習の推進	多様な人とのグループワークや意見交換などを通じたコミュニケーション力の向上に資する学習機会の充実	計画以上
	9 情報教育の推進	デジタルディバイドに対応する学習や、情報ソフトの操作、情報モラルの育成など、学習機会の充実	計画以上
	10 学び直しの支援	高等教育機関等と連携し、社会人の学び直しの機会の拡充	計画以上
	11 大学生等の参加による多世代交流の推進	関係機関や大学等と連携し、子ども・大学生・指導者等の多世代交流の機会の創出	計画以上
	12 子どもの体験活動・体験学習機会の充実	子どもたちの社会性の向上や自ら学び、自ら考える力を養うため、体験活動、体験学習の機会の充実	計画どおり
	13 人づくり啓発事業の実施	人づくりに対する意識の高揚や「学び」を通じた人づくりの推進。また、市全体で共有する人づくりの目標の普及啓発	計画以上

【参考】基本目標Ⅰの進捗について

施策	事業名	事業概要	進捗
③社会的課題に対応した取組の推進	再掲 情報教育の推進	デジタルディバイドに対応する学習や、情報ソフトの操作、情報モラルの育成など、学習機会の充実	計画以上
	14 「うつのみやデジタルスクエア」を通じたデジタルリテラシーの啓発	デジタルの活用に向けて一歩踏み出せる場、デジタル化に係る交流を生み出す場の運営やセミナーの開催	計画以上
	15 環境学習の推進	「もったいない」のころをもっと主体的な環境活動の促進を図るため、幅広い年代に対する学習機会と場の提供	計画どおり
	16 障がい者の文化・スポーツ講座事業の充実	障がい者の社会参加を促進し、教養、文化及びスポーツに関する各種講座を開催	計画以上
	再掲 学び直しの支援	高等教育機関等と連携し、社会人の学び直しの機会の拡充	計画以上
	17 様々な困難を有する人への学習機会の提供	学習活動に参加することが困難な人が継続して学習していける学びの機会や場の提供	計画以上
	18 人権教育の推進	イベントや講座等を通じた人権意識についての啓発・学習機会の提供	計画以上
	19 超高齢社会に対応した学習の推進	高齢者に関係する制度や役に立つ情報など、超高齢社会において必要な学習の推進	計画以上
	20 多文化共生に向けた教育の推進	生涯学習センター等における、国際交流や文化共生に関する学習機会の提供	計画以上
	21 外国人住民の生涯学習の推進	日本の生活習慣などの学習、地域の人との交流等を通して外国人住民の地域理解促進	計画以上
22 ワークライフバランスの理解に向けた啓発事業の実施	働き方の見直しや家庭・地域への参画促進など、仕事と生活の調和に向けた普及啓発	計画以上	

【参考】基本目標Ⅱの進捗について

【基本目標Ⅱ】地域・学校・家庭が相互に連携・協力した教育活動を通して、地域全体で学び合い育ち合っています。

○ 事業評価:2施策14事業(うち重点事業3事業)

施策	事業名	事業概要	進捗
④家庭教育支援の充実	23 「親学」の推進	家庭教育に対する意識の高揚や親力の向上を図る講和等の実施, 情報誌の発行	計画以上
	24 家庭での読書習慣を育む取組の充実	集団健診時のブックリスト配布, 保護者のグループ等を対象とした出前講座等の事業の充実	計画以上
	25 家庭教育支援活動者の育成	子育て家庭へのきめ細かな支援を行うため, 地域における家庭教育支援活動者の育成	計画どおり
	26 アウトリーチ型家庭教育支援の推進	関係部署との連携やイベントでの相談ブースの設置などによるきめ細かな家庭教育支援	計画以上
	27 家庭教育支援講座の充実	家庭教育への意識高揚や親力の向上を図る講座の充実	計画どおり
	28 宮っこの居場所づくりの推進	子どもへの様々な体験・経験, 交流機会の提供や, 子育て家庭への個々の状況に応じた支援を行う居場所づくりの推進	計画以上

【参考】基本目標Ⅱの進捗について

施策	事業名	事業概要	進捗
⑤ 地域ぐるみによる教育活動の充実	29 魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実	活動の円滑な実施に向けたコーディネーターの育成や地域協議会の組織強化	計画以上
	30 宮っ子ステーション事業の充実	「子どもの家」と「放課後子ども教室」の一体的な実施とともに、実施校区の拡大	計画以上
	31 地域における学習支援活動の推進	地域の中学生の学習習慣の定着のため、地域で自主的に取り組む学習支援活動の支援	計画どおり
	32 学校図書館と連携した読書環境の充実	授業に役立つ資料や情報の提供、学校図書館職員やボランティアの育成・支援に取り組み、子どもの読書環境の充実	計画以上
	33 「地域未来会議」の推進	各中学校において、生徒が地域の方々と議論する「地域未来会議」を実施	計画以上
	34 「街の先生」活動事業の推進	学校における教育活動等に地域の教育力を導入するため、教育活動のねらいに即して登録者リストから「街の先生」として活用	計画以上
	35 子育てサロンの推進	地域に子育て支援拠点を設置して地域の子育て機能を充実し、子育ての不安感等の緩和、子どもの健やかな育ちの支援	計画以上
	再掲	人づくり啓発事業の実施	人づくりに対する意識の高揚や「学び」を通じた人づくりの推進。また、市全体で共有する人づくりの目標の普及啓発

【参考】基本目標Ⅲの進捗について

【基本目標Ⅲ】多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

○ 事業評価: 3施策22事業(うち重点事業3事業)

施策	事業名	事業概要	進捗
⑥多様な主体による学習機会の提供	36 NPO・大学・企業等と連携した学習の推進	企業等のもつ教育力の活用や、学習者が学んだ成果を活用し活躍する機会や場の拡大	計画以上
	37 社会教育関係団体との連携	社会教育関係団体との意見交換や共済事業の実施など、緊密な連携	計画どおり
	再掲 環境学習の推進	「もったいない」のころをもっと主体的な環境活動の促進を図るため、幅広い年代に対する学習機会と場の提供	計画どおり
	38 高齢者の生きがいづくりの推進	心身共に健康で充実した高齢期を過ごせるよう、生きがいづくりの推進	計画より遅れ
	39 みやシニア活動センター事業の実施	豊富な知識や経験を持つシニア世代が、健康でいきいきと活躍できるよう支援	計画以上
	40 地域スポーツクラブの育成・支援	市民の誰もが継続してスポーツに親しむことができるようクラブの設立・運営を支援	計画より遅れ

【参考】基本目標Ⅲの進捗について

施策	事業名	事業概要	進捗
⑦地域で活躍する人材の育成	41 地域の教育活動の担い手の育成	コーディネーターを育成・支援するプログラムの実施や、学んだ成果を地域の教育活動へと生かしていくための仕組みづくり	計画以上
	42 まちづくりに携わる人材の育成	まちづくりセンターや生涯学習センター等において、地域活動やNPO活動などについて学び、実際に地域における活動につなぐ	計画以上
	43 読書活動を支援するボランティアの育成	読み聞かせや障がい者サービス等読書推進に関わるボランティアを確保するため、研修会等を行い人材を育成	計画どおり
	44 若者ボランティア認定制度	高校生や大学生等の継続的なボランティア活動への参加を促進	評価困難
	45 障がい者の意思疎通支援の充実	的確に情報を取得・伝達できるよう、音訳、点訳、手話奉仕員などを養成	計画どおり
	再掲 学び直しの支援	高等教育機関等と連携し、社会人の学び直しの機会の拡充	計画以上
	再掲 家庭教育支援活動者の育成	子育て家庭へのきめ細かな支援を行うため、地域における家庭教育支援活動者の育成	計画どおり
	46 子どもの体験活動指導者の育成	身近な地域で子どもと関わる地域活動の実践者等への体験活動に関する研修の実施	計画どおり
	47 社会教育主事の養成・活躍促進	大学と連携した養成事業の実施と各生涯学習センター等における活用促進	計画以上
	48 講座企画・運営ボランティアスタッフの育成	生涯学習センター等の講座の企画立案から、広報・実施までを行う人材の育成	計画以上

【参考】基本目標Ⅲの進捗について

施策	事業名	事業概要	進捗
⑧ 郷土愛や地域理解を促進する取組の推進	49 地域学・宇都宮学講座等の充実	地域課題や魅力を発見・共有するとともに、郷土愛や地域理解を促す講座の実施	計画以上
	50 地域かがやきプロジェクト事業の推進	地域づくりの取組を促進するため、地域課題解決に向けた学習や各種地域団体と連携した学習の実施	計画以上
	51 「二十歳を祝う成人のつどい」における地域交流事業の推進	地域社会の一員としての自覚などを育むため、地域の特性を活かした事業の実施	計画どおり
	52 地域資料の収集・提供事業の推進	収集・保存・提供に取り組むとともに、貴重な資料をデジタル化し、データベースとしてインターネット公開	計画以上
	53 歴史文化資源周知啓発事業の推進	「宇都宮の歴史を紐解く8ストーリー」の普及啓発や、出前講座、「文化財めぐり」、「文化財展示施設における企画展」などの実施	計画以上
	54 うつのみや伝統（ふるさと）文化継承事業の推進	宇都宮伝統文化連絡協議会と連携しながら、「ふるさと料理教室」「民話の集い」「伝統文化講座」などの事業の実施	計画どおり

【参考】基本目標Ⅳの進捗について

【基本目標Ⅳ】学習や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める学習環境が整っています

○ 事業評価:2施策12事業(うち重点事業3事業)

施策	事業名	事業概要	進捗	
⑨ 学習や活動を促進する環境づくり	55	生涯学習センター施設,図書館施設の利用促進	生涯学習センター等における部屋の貸し出しや場の提供など,利便性を向上させる環境整備を促進	計画以上
	56	視覚障害者等の読書を支える図書館サービスの充実	アクセシブルな資料・情報の作成・収集・提供や,障害の種類・程度に合わせた円滑な利用の支援の充実	計画以上
	57	センター図書室等における図書サービスの充実	地域性や利用者層を考慮したサービスの提供や各センター等での開催事業のテーマに合わせた資料の展示等	計画以上
	58	学習成果を活用した活動機会の充実	学習成果を生かして活動したい市民に対し,講座開催の支援をするなどの仕組みづくり	計画以上
	59	社会教育施設の環境整備の推進	施設・設備の機能向上に向けた計画的な改修,施設の老朽化等に伴う今後のあり方の整理	計画以上
	再掲	生涯学習センター等における学習機会の充実	市民ニーズに応じた学びの機会や場の提供,参加しやすい環境整備	計画以上
	再掲	デジタル技術を活用した学習,読書機会の充実	YouTube, Zoom等を活用した講座の提供に加え,電子図書館などの読書機会の充実	計画以上

【参考】基本目標Ⅳの進捗について

施策	事業名	事業概要	進捗
⑩ 学習や活動を支える機能の充実	60 図書館レファレンスサービスの利用促進	有用な資料を収集するほか、調べものに役立つパスファインダーやブックリストの作成・提供、レファレンス事例の公開等	計画どおり
	再掲 地域資料の収集・提供事業の推進	収集・保存・提供に取り組むとともに、貴重な資料をデジタル化し、データベースとしてインターネット公開	計画以上
	61 ビジネス活動に必要な資料・情報の提供	関係機関等と連携し、ビジネスに関する資料や情報の収集・提供や事業を実施	計画以上
	62 学習情報提供事業・学習相談事業の充実	市民に有用な学習情報の提供や、生涯学習指導員による学習相談、支援	計画以上
	再掲 社会教育主事の養成・活躍促進	大学と連携した養成事業の実施と各生涯学習センター等における活用促進	計画以上

6 議事 報告事項(2)

令和5年度 図書館事業に係る
図書館参考人からの意見について

◎ 趣旨

令和6年3月に図書館参考人から「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」の図書館事業について意見聴取したためその結果を報告するもの

Ⅰ 図書館参考人について

図書館事業について専門的かつ幅広い意見を聴取することを目的として設置（任期2年）

宇都宮市立図書館参考人名簿（任期：令和4年6月1日～令和6年3月31日）

1	吉田 正道（よしだ まさみち）	栃木県教育委員会事務局生涯学習課
2	吉澤 麻衣子（よしざわ まいこ）	栃木県立図書館
3	篠原 良一（しのはら りょういち）	公益財団法人 栃木県産業振興センター
4	小林 崇宏（こばやし たかひろ）	栃木県高等学校教育研究会図書館部会
5	大橋 幸雄（おおはし ゆきお）	作新学院大学
6	麦倉 仁巳（おぎくら ひとみ）	社会福祉法人 宇都宮市障害者福祉会連合会
7	佐藤 麻矢（さとう まや）	宇都宮子どもの本連絡会
8	永井 寛（ながい ひろし）	宇都宮市地域まちづくり推進協議会
9	谷黒 潤（たにぐろ じゅん）	宇小教研図書館部会
10	星野 美紀子（ほしの みきこ）	利用者代表（公募）

2 各事業に対する主な意見

施策1 学習意欲の向上に資する取組の推進

施策9 学習や活動を促進する環境づくり(再掲事業)

事業番号2 デジタル技術を活用した学習, 読書機会の充実

- ・ 図書館情報システムの更新により新しい機能も追加され, 利用者の利便性が向上した。
- ・ 「宇都宮市電子図書館」利用者の意見として, 耳で聴く図書をもう少し増やしてほしい。また, 高齢者がスマホで読むのは難しいので, 図書館でタブレットが利用できるコーナーがあるとよい。
- ・ 障がい者の方などは, 来館しにくい面もあるので, 非来館型の電子書籍を進めるという方向性は大切である。一方で, 電子書籍化が進められている中, 紙ベースの本は買う必要がないという意見もあるが, 電子と違って紙は保管しておけば残るので, 紙の本も重要である。

2 各事業に対する主な意見

施策1 学習意欲の向上に資する取組の推進

事業番号6 読書活動の充実

施策9 学習や活動を促進する環境づくり

事業番号55 生涯学習センター施設, 図書館施設の利用促進

- ・ デジタル化の進展で図書館のサービスはどんどん便利になり, 必要な本を探すことが容易になったことで利用者の時間が節約できることは評価できる。その一方で, 図書館での思いがけない本との出会いも大切であり, 図書館ならではの楽しみを考えていけるとよい。長時間図書館にとどまってもらうにはどうすればよいか考えても面白い。
- ・ 図書館に来ることが楽しくなる仕組みを作るなど, 市民の生活の一部になるような図書館になると, 来館する大人も子どもも増えるのではないか。

施策1 学習意欲の向上に資する取組の推進

事業番号7 子どもの読書活動の推進

施策9 学習や活動を促進する環境づくり

事業番号55 生涯学習センター施設, 図書館施設の利用促進

- ・ 自宅で読書をする小学生が減少しており, 地域の施設や仕組みが足りないと感じている。子どもたちを図書館に呼んで, 本を読む機会を増やしてほしい。

施策9 学習や活動を促進する環境づくり

事業番号56 視覚障がい者等の読書を支える図書館サービスの充実

- ・ 図書館には, 視覚障がい者への配慮について引き続きよろしくお願ひしたい。

6 その他

(1) うつのみやこども賞

40周年記念事業の概要について

6 その他 (1) うつのみやこども賞40周年記念事業について

記念式典の開催

日程：令和7年1月26日（日）

会場：宇都宮ライトキューブ（中ホール）

内容：受賞作家・選定委員の表彰や受賞作家の講演会に加え，子どもの認知度の高い作家を招へいし来場者が楽しめる企画を実施

記念誌の発行

歴代受賞作品紹介，歴代受賞者や選定委員等からの寄稿などを掲載

うつのみや こども賞巡回展

歴代受賞作品紹介やこれまでのあゆみ，選定会議風景などのパネルを展示

※市内の5館の図書館にて巡回予定

6 その他

(2) 令和7年宇都宮市二十歳を祝う
成人のつどいの開催概要について

6 その他 (2) 令和7年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの開催概要について

開催日	令和7年1月12日(日)	
時間	午前開催	午後開催
	午前10時～12時 <14中学校区> 旭・陽南・星が丘・陽東・宮の原・瑞穂野・豊郷・晃陽・姿川・雀宮・鬼怒・上河内・古里・河内中学校区	午後2時～4時 <11中学校区> 一条・陽北・陽西・泉が丘・清原・横川・国本・城山・宝木・若松原・田原中学校区
該当者	平成31年度中学校卒業生(令和2年3月卒) 平成16年4月2日から平成17年4月1日の間に生まれた方	

6 その他

(3) 今後のスケジュールについて

- 令和7年2月 第2回社会教育委員の会議
 - ・ 令和7年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について
 - ・ 令和7年度 社会教育関係団体に対する補助について など